

プロジェクトマネジメント学会のご案内

<https://www.spm.or.jp/>



プロジェクト・プログラム・ポートフォリオマネジメントで社会と顧客の価値創造に応える

一般社団法人プロジェクトマネジメント学会

The Society of Project Management

IPMA[®]
JAPAN 

international
project
management
association

概 要

会長ご挨拶

プロジェクトマネジメント学会は、1999年の設立以来、プロジェクトマネジメントの理論と実践の両面の発展に取り組み、プロジェクトマネジメントに関する高度な知識・技術・技能の普及と啓発を日本および世界の個人と産業界に対して行ってきました。国際会議「ProMAC」や春・秋の研究発表大会に多くの会員が参画し、研究成果や企業での経験を発表しています。これにより、私たちは膨大な成果の蓄積と公表に貢献することができました。ProMACは、北米、欧州、アジアの各地域のプロジェクトマネジメント能力の均衡ある発展を目的としており、特にアジアにおけるプロジェクトマネジメントの啓発と普及に貢献するとともに、特色ある論文の世界的な公開を通じて、理論および応用の両分野で高い評価を得ています。さらに、学会誌、ニュースレター、会議録、セミナー資料など、年間6,000ページを超える情報を会員に提供しています。これらの資料は国立国会図書館に納本され、科学技術振興機構が運営するJ-STAGEで公開されています。これにより、会員の学術的・実践的著作物の価値を高め、競争優位性や独創性をアピールし、プロジェクトマネジメントの普及に貢献しています。また、日本産業標準調査会(JISC)からISO/TC258 Project, Programme and Portfolio Managementの国内委員会の委嘱を受け、長期にわたり国際標準化活動に貢献してきました。この活動の中で、関連するISO規格を日本工業規格(JIS)として発行する国内標準化活動を行い、国内産業の国際競争力強化に貢献しています。また、世界70のPM団体が構成されるInternational Project Management Association(IPMA)の会員として、同組織との連携活動や本学会が独占使用権IPMAの豊富な知的財産の日本語化などを通じて、会員に利益に資する情報を提供しています。このような活動は、会員の積極的な参画に支えられています。多くの会員による活発な知の交流によって、私たちの能力と価値はさらに高まることでしょう。プロジェクトマネジメント学会への入会をお待ちしています。



代表理事・会長 関 哲朗

2023年9月

名 称 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会(略称:PM学会)
日本学術会議(SCJ) 協力学術研究団体
経営工学関連学会協議会(FMES) 会員
IPMA(International Project Management Association)会員

英 文 名 The Society of Project Management (略称:SPM)

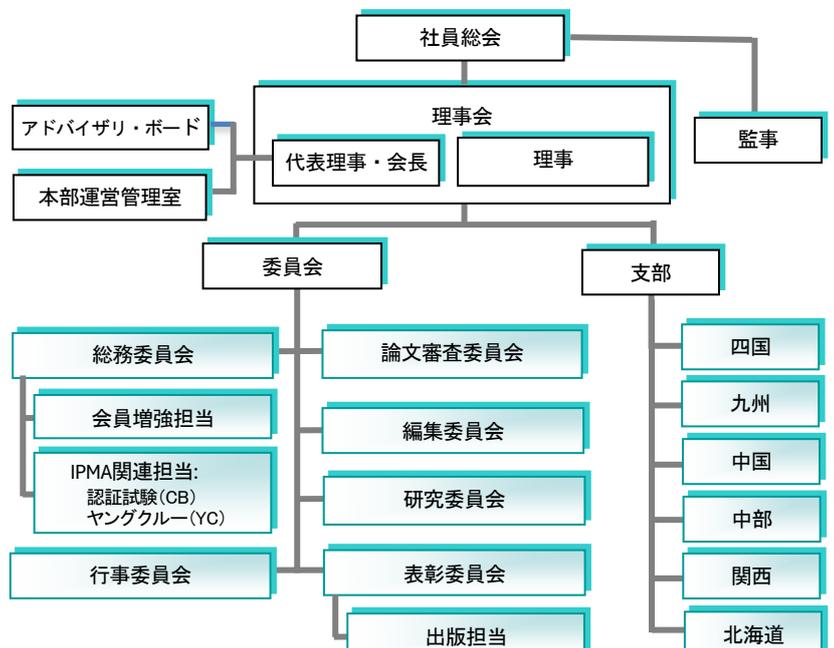
会 長 関 哲朗(文教大学)

ビジョン プロジェクトマネジメントを学問・技術の体系として整備、確立、発展させ、国際社会に寄与する。そのために、広々様々な分野から参画する多数の会員により、常にオープン、中立的、協調的かつ学際的で活発な活動を展開する。これにより、学術的に優れた研究成果、技術および実践面での向上、プロジェクトマネジメントの一層の普及を実現するとともに、企業・産業・社会・経済・学問・文化の発展に貢献し、参画する会員に動機と達成感を与え成長し続ける学会を目指す。

運営方針 プロジェクトマネジメントの定着と更なる発展、そしてプロジェクトマネージャの地位向上に向けて、以下の各方針を掲げ、学会ビジョンに基づく活気のある学会活動を展開いたします。

- 1) プロジェクトマネジメントを通じた社会貢献の実践
- 2) プロジェクトマネージャの地位向上、プロジェクトマネジメントの普及に向けた幅広い議論の場の提供
- 3) 学会の運営基盤の充実

・組 織



PM 学会の主な活動

1. 学会誌とニュースレターの発行

学会誌(偶数月発行)とニュースレター(奇数月発行)は、プロジェクトマネジメントを学術的に支えたり(体系的に整理し、理論的な裏付けを与える)、実践的な知の展開を図ったりすることを目的に、研究論文や関連分野の最新動向を紹介する解説記事などを提供しています(電子媒体で提供しています)。

2. 各種行事の開催

国際会議(ProMAC): 2002年にアジア・パシフィック地域における知の交流の促進を目指して創設され、IPMAへの加盟以降は世界の全地域を舞台に毎年開催される3日間の国際会議です。約150件の論文発表や多彩な基調講演が行われます。

研究発表大会: 1999年に創設され、毎年春と秋に開催される2日間の国内会議です。約150件の論文発表や基調講演が行われ、ネットワーキングなどの催しを通して産官学の協調と連携が促進されます。

シニアPMと語ろう: シニア・プロジェクトマネージャからのカジュアルな実践知の学びを提供しています

その他: 本部や支部などが主催するシンポジウム、フォーラム、 세미나などが多数提供されています。



国際会議 ProMAC の Gala Dinner の様子



春・秋の研究発表大会の会場風景

3. 論文審査

2名以上の査読員の審査意見をもとに論文審査委員会が権威ある立場で基礎的または実践的な研究論文としての採否を決定します。本学会の学会誌に採録された研究論文をもとに博士の学位を取得した会員が多数誕生しています。

4. 表彰

優秀な研究論文や解説記事の執筆、実務を通じたプロジェクトマネジメントの普及・発展に寄与した会員を表彰します。

5. 国際活動

プロジェクトマネジメントに関する世界最大のアライアンス組織である IPMA (International Project Management Association) に日本代表組織として参画しています。同団体が発行し、本学会が国内における独占使用権を有する ICB (Individual Competence Baseline) を始めとする IPMA の知財の和訳提供を行い、国際資格試験(IPMA 4 Level Certification)を実施することで、個人および法人の会員に向けた国際的なビジネス環境への適応機会を提供しています。



「シニア PM と語ろう」の一風景

6. 研究活動

アジャイルや AI、判例など、様々な分野の研究・学習の機会を提供しています。

プロジェクトマネジメントの技術動向や会員の要望を踏まえ、新たな研究会を追加していく予定です。

7. 出版活動

プロジェクト、プログラム、ポートフォリオを管理するための包括的な方法論やガイドラインに加え、プロジェクトマネジメント実施賞などの受賞企業の知見を集めた書籍などを出版しています。

8. 支部活動

6支部を設け、各地区におけるプロジェクトマネジメントの研究・普及を図り、PM 人材育成や地域活性化に貢献しています。

活動内容の詳細は、プロジェクトマネジメント学会ホームページ(<https://www.spm.or.jp>)をご参照ください。

プロジェクトマネジメント学会の歩み 1999 ~ 2022

1999	<ul style="list-style-type: none"> ・3月学会設立 ・研究発表大会および、学会誌、@pm.Letters 発行開始 ・第1回研究発表大会開催 ・PM用語対訳集編纂 	2011	<ul style="list-style-type: none"> ・関西支部設立 ・国際会議 ProMAC 2011 主催(バタム、インドネシア) ・ISO/TC258 国内審議団体受託
2000	<ul style="list-style-type: none"> ・学会ビジョン策定 ・経営工学関連学会協議会(FMES)加入 	2012	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道支部設立 ・国際会議 ProMAC 2012 主催(ホノルル, US)
2001	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌とニュースレターの隔月刊化を開始 ・学会ロゴマーク策定 	2013	<ul style="list-style-type: none"> ・学会表彰(文献賞, PM実施奨励賞, PM実施エクセレントパートナーシップ賞)開始 ・国際会議 ProMAC 2013 主催(ハノイ, ベトナム)
2002	<ul style="list-style-type: none"> ・設立3周年記念シンポジウム・祝賀会開催 ・日本学術会議学術研究団体登録 ・日本技術者教育認定機構(JABEE)加入 ・四国支部設立 ・国際会議 ProMAC 2002 主催(シンガポール) 	2014	<ul style="list-style-type: none"> ・設立15周年記念式典・祝賀会開催 ・ISO/TC258 京都会議開催 ・国際会議 ProMAC 2014 主催(クアラルンプール, マレーシア)
2003	<ul style="list-style-type: none"> ・九州支部設立 ・トワイライトサロン開始 ・PM普及図書出版開始 ・法人会員特別セミナー開始(現・新春セミナー) 	2015	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議 ProMAC 2015 主催(札幌) ・秋季研究発表大会を札幌で ProMAC と共同開催
2004	<ul style="list-style-type: none"> ・PM標準カリキュラム整備に向けた教育フォーラム開催 ・国際会議 ProMAC 2004 主催(幕張) 	2016	<ul style="list-style-type: none"> ・IPMA 加盟 ・国際会議 ProMAC 2016 主催(ゴールドコースト) ・ISO/TC258 WG4 東京会議開催 ・学会表彰(学生研究発表賞)開始
2005	<ul style="list-style-type: none"> ・中国支部設立 ・学会表彰(学会賞, 論文賞, 論文奨励賞)開始 	2017	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議 ProMAC 2017 主催(ミュンヘン, ドイツ)
2006	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県船橋市西船橋に事務所開設 ・国際会議 ProMAC 2006 主催(シドニー) 	2018	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議 ProMAC 2018 主催(バンコク, タイ)
2007	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都港区新橋に事務所移転 ・アドバイザリボード設置 	2019	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議 ProMAC 2019 主催(ヤンゴン, ミャンマー) ・SPM Young Crew 設立
2008	<ul style="list-style-type: none"> ・中部支部設立 ・国際会議 ProMAC 2008 主催(アンカレッジ) ・代議員制への移行 	2020	<ul style="list-style-type: none"> ・創立20周年記念式典・祝賀会開催
2009	<ul style="list-style-type: none"> ・設立10周年記念講演会・祝賀会開催 ・一般社団法人化 ・国際会議 ProMAC 2009 主催(バンコク) ・学会表彰(PM実施賞)開始 	2021	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議 ProMAC 2021 主催(熊本)
2010	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議 ProMAC 2010 主催(幕張・舞浜) ・標準書「母体組織のプロジェクト推進機能」発行 	2022	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌およびニュースレターを電子出版に移行

入会のご案内

正会員(個人会員), 学生会員(個人会員), 法人会員の3タイプがあります。
詳細は、プロジェクトマネジメント学会ホームページ(<https://spm.or.jp/>)をご参照ください。

<会員の特典>

- ・学会誌やニュースレター等で各種情報を入手できます。
- ・研究発表大会など有料イベントの参加費が割引されます。
- ・会員限定の無料イベントに参加できます。
- ・学会誌への論文や記事の投稿, 大会での発表など通じて, ご自身や所属団体などの価値を向上させることができます。
- ・各種イベントなどへの参加により, 資格更新などに利用できる参加実績やポイントを取得することができます。

会員の状況(2023年9月現在)

個人会員数: 約1,800名

法人会員数: 約120法人